

2014年「2/21門真市の反ザイトク施策研修会」の戸田講演資料
 正式名称：「自治体行政におけるヘイトスピーチ勢力への規制～門真市における対ザイトク先進施策の報告説明会」
 （「ザイトク」とは民族差別暴力を得意がる在特会など「ヘイトスピーチ勢力」の総称。戸田の造語）

「住民の安全と尊厳を守るのが行政の責務だ」として、ヘイトスピーチ勢力への規制施策を議会で表明し深化させてきた、門真市の2011年9月議会からの歩み！

- ▲差別怒号デモ街宣は差別助長・人権侵害の危惧あり。民族、国籍などを捉まえての差別行為は許されない。
- ▲市内で差別怒号行為（ヘイトデモ）が起これば、批判見解を表明し、厳しい対応を取る。
- ★差別怒号暴力の常習団体や個人には公共施設（会館、公園、道路等）を貸さない。
- 全部署の職員（教委も含む）にザイトク問題についての研修を毎年実施。（戸田作成動画も使って）
- 学校生徒が街頭やネットでヘイト行為をした事が判明したら厳しく教育指導する。
 「在日特権デマ」を誤信した市民意見には誤りを指摘しきちんと啓発していく。
- ★「反ザイトク人権施策の主管は（市民部）人権政策課」と定めて、（教委も含んだ）行政としての責任の所在を明確化！ここがザイトク問題の情報収集、情報共有、職員研修や市民啓発を主導する体制になった。

門真市とは逆に
 住民の安全と尊厳を
 守らない自治体の例



大阪府門真（かどま）真市議：戸田ひさよし「革命21」（議会では「無所属」）
 門真市新橋町 12-18 三松マンション 207 TEL；06-6907-7727 FAX；06-6907-7730
 アドレス：toda-jimu1@hige-toda.com HP：http://www.hige-toda.com/



【ほとんどの自治体】

ザイトクに無為無策。差別街宣や差別ピラやらせ放題。

押しかけや要求されると場当たり的で腰の引けた対応をするのみ。

【少しマシな生駒市】

ザイトク攻撃押し切って外国籍住民含めた住民投票規定を設置。在日の市民委員への攻撃に謝罪求め、謝罪無しで面談拒否。ただし市内での差別街宣・ピラまきは放置。

【最悪の尼崎市】

◆ザイトクが市議会傍聴で在日女性を困んで差別罵倒攻撃しても放置！「市民派女性市長」も職員も知らん顔！

◆「人権派」議員達（市民派・共産・社民・民主）は「ザイトク相手にせず」と称して保身で反ザイトク闘争を抑止し、市民を攻撃にさらす！

【大変良くない大阪市・大阪府】

◆名高い同和人権行政はどこへやら。ザイトクに会館・公園・道路を使わせ放題、ヘイト街宣・デモやらせ放題！

◆維新の市議・府議はザイトクと仲良し！ 府教育長（中原徹＝橋下と大学同窓の弁護士）もザイトクと仲良し！

- 日本には40年近い年月に渡る「同和人権行政」の蓄積がある。
 だから公園のトイレに部落差別や朝鮮人差別の落書きがされたら、行政的に大問題になって行政当局が批判見解や啓発宣伝を出すようになっている。
 従って、「トイレの差別落書き」の何万倍も悪質な「公衆面前での差別罵倒・差別扇動」は、行政的に大問題として取り上げるべき事である。
 そしてそれは、「前例踏襲主義」で簡単に出来る事で、役所が苦手な「新規発想」を必要としない事だ。従来の同和人権行政の簡単な横滑りで済む話だ。
- なのに、なぜそれを誰も指摘しないのか？ 行政にやらそうとしないのか？
 なぜ「人権派」議員達は行政を突き上げようとするのか？
 なぜ各種人権運動団体や活動家達は議員や行政を突き上げないのか？ 不思議だ。
- 戸田は2009年4月にザイトク行動の存在（わらび市カルデロンさん一家小中学生攻撃事件）を知ってすぐにこの方策を思いついた。
 だから2010年連帯ユニオン議員ネット大会でこの方針を明示し、市議復活後の2011年9月議会で門真市に採用させた。しかし他の自治体は未だに……

「自治体行政の施策として反ザイトクをやる」という事は、

- ★「恒常的システムとしてザイトク行動を封殺する」地域体制を作る
 （その都度人集めが必要で、一部でしか実施出来ないカウンターではなく、一部の人の「勇気」にのみ頼るのではなく）
- ★その自治体の何万何十万の住民全てに啓発出来る（行政HPや広報）
- ★その自治体の（市町村なら小中、府なら高校）学校での教育指導や、社会人教育として実施出来る。
- ★民間委託も含めた全職員に反ザイトクの職員研修を継続出来る。
- ★地元警察を人権行政への支援勢力として活用出来る
 （地元警察は地元行政首長の領分を侵すようなザイトク支援は出来ない）
- ★「安全安心なまちづくり」、「品格のあるまちづくり」という全国的な行政スローガンに完全に合致する。（換骨奪胎！）
- ★ザイトクに会館・公園・道路の使用を許さないのだから、ほぼザイトクの登場を防げる～住民の安
 等々を意味している。こんな素晴らしい事になぜ関心が低いのだろうか？

＝門真市が反ザイトク施策を進めた経緯＝

＝門真市行政にそれを進めさせた戸田の戦略と戦術＝

前史：2009年～2011年8月：ザイトク暴力が勃発、拡大！

2009年：3月：秋葉原で在特会「外国人参政権反対デモ」が歩道上のたった1人の反対者を集団暴行！
4月：■ 埼玉県蕨（わらび）市でカルデロンさん一家の自宅・小中学生に追放罵倒デモ事件
6月：「外国人参政権反対！」を掲げた「6/13 京都市デモ」で関西初登場！←カウンター行動
10月：大阪市デモ、宝塚役所抗議の街宣・脅迫行動。従軍慰安婦問題宣伝への妨害襲撃常態化。
11月：大島淡紅子（ときこ）・宝塚市議（社民党）事務所が襲撃された！
12月：■ 京都朝鮮初級学校への襲撃事件！ ⇒☆戸田HPでザイトク問題特集を開設！



2010年：1月：西宮駅前で従軍慰安婦問題宣伝を襲撃、負傷者。
2月：☆「連帯ユニオン議員ネット」大会でザイトク糾弾特別決議
3月：■ 生駒市役所・議会棟襲撃事件
4月：■ 4/7 大阪駅前で戸田を襲撃！4/11 戸田自宅へ右翼襲撃街宣。4/14 徳島県教組襲撃！
7月：☆戸田襲撃で宮井将逮捕、8月：京都朝鮮学校事件で逮捕、9月：徳島県教組事件で逮捕
8月：■ザイトクが8/63 ヒロシマに登場し、被爆者罵倒・核武装宣伝をする事が常態化。
10月：川西市議選にザイトクおつる＝中曾千鶴子出馬！（落選したが）

2011年：◆ 3/11 大震災・福島原発破損事故！戸田は「3/24 公民権停止解除」⇒4月市議選で活発に活動。
在特凶悪犯＝荒巻靖彦と親しい維新の宮本一孝府議への批判を開始！
■ 3月にザイトク西村齊が戸田を「虚偽告訴罪」で刑事告訴し、ほぼ同じ時期に中曾千鶴子が戸田を「名誉毀損罪」で刑事告訴して、公安警察と結託して戸田弾圧を水面下で準備していた！
★4/24 門真市議選で戸田が8位当選し議員復活！（権力弾圧で2年間失職していた）
■ 5/31 に中曾の不当告訴を使って兵庫県警公安が戸田にガサ入れ弾圧！！



これに連動する形で5月頃（？）奈良のザイトク山道が戸田とHP掲示板投稿市民2人を「名誉毀損罪」で告訴していた！・・・6月・7月に奈良警察の事情聴取に応じつつ反撃。

2011年9月議会・本会議質問：反ザイトク施策の土台を作った全国初の議会答弁！

＝戸田の戦略・戦術＝

- 1：「差別・人権侵害問題として反ザイトクの姿勢を表明すること自体は、「同和・人権行政での論理」を横滑り的に応用すればよいだけだし、「金は全くなからない」事だから、行政としては本来は「簡単に踏み出せる事」である。
そういう理屈で迫られたら市はすぐに同意せざるを得ない。
- 2：しかし行政マンはザイトクの実態を全く知らない。
ザイトクの酷さは「人の想像を絶する」ものなので、まずは映像を職員に見せて教える必要がある。⇒役所のPC事情から、USBにザイトク動画を入れて職員に見させた。
また、「門真市にもザイトク登場可能性あり」を納得させた。
- 3：「担当部署がはっきりしない」という事も問題だ。
- 4：議会で初めてザイトク問題を取り上げるにあたって、まずは「市長部局」だけを相手にするものとして、「本会議一般質問」で取り上げる事にした。これで良い答弁を引き出した後に文教委で教委を相手にする方が効率的だと判断した。
- 5：「差別・人権問題」と「門真市の街頭でザイトク行動が起こった場合の対応問題」は「市民部（人権政策課）」、「役所や議会に押しかけられた時の対応」は、「総務部（管財課）」を選定して答弁させた。
- 6：当時の「人権政策課」の実態は、非常に低レベルだった。（その後、戸田の指摘を受けて段々改善されていくが）

{その成果や意義}

- 以下の諸点を初めて行政に同意させた意義は大きい。
- 1★：出生や民族、国籍などの属性そのものを非難攻撃する事は、落書きであれ、口頭であれ、プラカードであれ、差別行為として批判されるべき。
 - 2★：とりわけ、それを公衆の面前での演説やシュプレヒコールやデモで行なう事や、デマを使った民族憎悪扇動をする事は、特に悪質な差別行為である。
 - 3★：攻撃対象にされる住民がそれによって傷つけられ、恐怖を感じる。
 - 4★：子ども達にも悪影響を与え、長年の人権教育・人権行政が破壊されてしまう。
(教育委員会所管の教育問題にも関係する)
 - 5★：門真市内でそういう差別の宣伝やデモ事件が起こった場合は、市は事実の調査確認をして、行政としての批判見解と市民啓発をすべき。
 - 6★：役所抗議で業務妨害あれば厳しく対処する。
- ※「これまで市内で起こった部落差別や民族差別事件の実態と、それへの行政対応」を問い、市側は、世界人権宣言・国際人権規約・日本国憲法に加えて、「門真市人権尊重のまちづくり条例」も引用して答弁案を作り、戸田と事前協議して答弁した。

2011年10月～12月、ザイトクが攻撃開始！戸田・門真市・生駒市が連携して撃退！

1：ザイトクが生駒市・神戸市・滋賀県・大津市・高槻市・枚方市など行政に対して「現地乗り込み攻撃」を強化。「太陽光エネルギー推進しようとしている」とか、「住民投票での外国籍住民の投票権を認める条例を準備している」、などのネタで！

門真市に「三行半」回答で撥ねつけられて手が出せなくなってしまう在特会！

2：■ 生駒市に対して10月に在日女性市民委員のネット晒しと自宅脅迫街宣をやって、市長から謝罪要求と告訴をされた！ただ、市内での差別ビラ配布宣伝や差別街宣について何の見解も出さずに放置。つまり「住民の安全と尊厳を守る」行政として当然の責務を十全に果たしてはいない。●これは議員達が何もしようとしないからである！

3：そういった中で、「門真市での9月議会答弁」は、反ザイトクの強烈な光を放った。

かつ、戸田は生駒市と積極的に連携を図って、公開的に共同戦線を張ろうと動いた。

これに反発したザイトクは、11月に門真市役所に嫌がらせの訪問と質問への回答要求を行ない、門真市を屈服させようとした。

同時に、戸田自宅周辺への「執拗な嫌がらせ街宣攻撃」を計画した。

4：★一番のポイントは、門真市当局がザイトクの著名ゴロツキ（川東と西村）の「訪問」や「質問」という形での嫌がらせ攻撃を受けても、毅然と対決して見事に跳ね返し事！

戸田からの情報と助言があったとはいえ（メールだけでなく電話や面談でも）、門真市の行政マン達がかくも見事にザイトクを跳ね返したのは立派！

また市から相談を受けた警察も、市議会での反ザイトク施策の表明（＝市長の意思表明）がある以上は、行政や議員への攻撃は規制しなければならない、という姿勢で行政をバックアップしたようだ。

（★自治体議会で反ザイトクの答弁をさせる意義は、こういう所にもある！）

5：◆「戸田自宅襲撃街宣」計画や「メール質問攻撃」も、「戸田議員の断固たる対決姿勢」によって粉碎された！

★これら「2つの勝利」によって、

「ザイトクは門真市と戸田には手が出せない」状態が作り出された！

＝門真市の12/7回答文＝

在日特権を許さない市民の会・副会長 川東大了 様
山城之國企画 西村斉 様
記

23年9月議会における答弁内容については、いかなる団体であれ、人種、民族、門地など人が生まれながらにして持ち、自ら選択する余地のない点や国籍などの属性を捉まえての差別行為は、許されないものとの門真市の考え方を表明したものであります。

↑↑↑

★ザイトクがグダグダ「質問」を出してきたが、門真市は「三行半」の門前払い的回答でバツサリと撥ねつけた！

2011年12月議会・本会議質問：ザイトクとの対決実践で鍛えられた市の対応を示す！

◎「9月議会答弁」が（反ザイトク施策の）「基礎理論の構築」だったとすれば、「12月議会答弁」は、その基礎理論に沿った実践（現実対応）によって「基礎理論の実践の仕方を体得した事の確認」だった。

市役所で来訪ザイトクに対応したのが「市民部」の「地域活動課」（公聴担当）や「人権政策課」や「地域活動課」だったという事があって、議会答弁としては「市民部長」が行なう事になった。（答弁案作成は「市民部・人権政策課」）この当時は、教育委員会はまだザイトク問題にノータッチ。

＝本会議一般質問：3：差別暴力集団「在特会」らの問題について（更に認定を深める）＝のポイント、

1）9月議会答弁がほかの自治体の関心も呼んだことを公表し、

2）情報提供や共有を行なっていく姿勢を示し、

3）生駒市女性住民への嫌がらせ問題を全国の議会で初めて取り上げ

（おそらく生駒市議会では誰も取り上げていないはず！）

4）門真市でそういう事件が起こった場居の対処を明らかにさせ、

5）川東と西村の過去の悪行実態と今般の門真市と戸田への嫌がらせ行為を議会記録に刻みつつ、これらの妄動を手厳しく跳ね返した事を明らかにし、

6）そうした上で、

★「市内で差別の煽動や、差別に基づく個人へのいやがらせが行われる確実な情報を得た場合には、関係機関へ連絡するなど対応していく、

★「社会に重大な影響を及ぼす悪質かつ陰湿な行為である場合は、市民の人権を守る立場の市として必要に応じて毅然としたを行う」

という毅然たる姿勢を公に示した。

※最後に述べられた「市民の人権を守る立場の市」という言葉は、その後戸田によって

「市民の安全と尊厳を守る市の行政責務」という言葉に発展していく。

2012年
1月～3月

- 1月：●在特会会長の桜井が奈良地検に対して「地方公務員法違反」で戸田と生駒市長を告発！
●ザイトク凶悪犯の西村斉も、戸田を「名誉毀損罪」で刑事告訴！
2月：★「連帯ユニオン議員ネット大会」で2度目の「在特会問題特別決議」！
政府や自治体は、「門真市モデル」、「生駒市長対応」に倣ってザイトクの蛮行を批判すべし！

2012年6月議会文教委：初めて教委に質す。日の丸暴力集団、地元維新府議とザイトク

- 1：ザイトク問題を初めて「一問一答式、質問制限時間無し」の常任委員会（建設文教常任委員会）で取り上げた。
初めて教育委員会に対してもザイトク問題を問い質す（啓発する）機会になった
◆これまで教育委員会を相手にザイトク質問をしなかったのは、まずは「市長部局」から答弁を引き出して対ザイトク施策の土台を固めた方が、「全庁的な対応体制を作るには良い、と戦術的に判断したから。
- 2：◆そして、市議会の教育所管として取り上げるにふさわしい身近で重大な材料が次々に出てきた！↓
4月：「ネットと愛国 在特会の「闇」を追いかけて」出版。
■この本に、ザイトク凶悪犯荒巻靖彦が門真市出身である事が書かれていた！
■そして、この荒巻と門真市選出府議の宮本一孝（維新）が悪意だという証拠動画を戸田は2011年秋に入手していたので、2人まとめて議会で取り上げ、議事録に刻める！
- 5月★ごろつき荒巻・西村ら4人がロート製菓脅迫で5/10逮捕！
6/3：新宿駅南口でのザイトクが老人集団暴行。
■まさに「日の丸暴力集団の跋扈」であり、「日の丸は暴力集団の旗となっていて、これに恐怖や嫌悪を感じるのは当然！」という現物証拠になっている。⇒卒入式での日の丸・君が代強制に反対する事の正当性の証左
- 3：これに加えて、議員失職中の2010年に吹田市の中学校の3年生が、戸田HPの動画コーナーに市民派女性議員への殺人教唆書き込みをし、また自分のブログに、「在日朝鮮人を皆殺ししろ」という差別・殺人扇動もしていた問題を捉えて、「門真の子ども達の中でもあり得る事（大人にも）」、という警鐘を鳴らす機会に出来る。
- 4：◆質問準備の段階で、教委に対して「ネットと愛国」の本を渡し、またザイトクの集団暴行の動画（6/3新宿駅事件ほか）や、「ザイトク荒巻が宮本一孝府議との仲を自慢している動画」も（USBで）渡して、「事前学習」をさせた。こういう情報や映像は、教委としては初めて見るものだったはずだ。
- 5：「教委としては率直に答えられない事が多い」＝「答弁としての成果の部分は少ない」事は折り込み済みである。
★「成果」として引き出す事を意図し、実際に成功したのは、「ネットと愛国」を読んで得た認識を3点挙げよ、と求めて、
1) 在特会の活動内容については、そういうことが事実とすれば、人権上大きな問題がある。
2) 委員ご指摘の特定団体（＝ザイトク）が差別を助長し、人権を侵害しかねない行為を繰り返している。
3) 日常生活の中で感じる不安や不満が過激な行動に結びつく場合があり、現代社会で一部の人がネットを通して承認され、人との関係を結べるような場が在特会の広がり背景にあった。
と認識した、という趣旨の答弁をさせた。・・・★これは大成果だ！
- 6：「日の丸・君が代強制問題」については、どんなにこちらの追及論理が正しくても、教委は非論理的な正当化論を崩そうとはしない事は先刻承知だが、それでも「在特会らの差別排外主義暴力の拡大は行政による日の丸・君が代強制が助長したと言える」現実まざまざと示す（～議員達にも聞かせる）事は意味がある。
教委が求めるように日の丸、君が代にみんな従うという人間が増えれば増えるほど、日の丸を掲げて民族差別の扇動、デマ宣伝、暴力行為を行なう輩が現に増えている、という戸田の指摘は痛烈であり、誰もこれには反論出来ない。
- 7：荒巻の事や宮本一孝府議の事について、ほとんどまともな答弁が無かったのは、ある意味で仕方が無い。
この件では、戸田による具体的に詳しい事実の指摘が「公開情報・永久保存である議事録に記載される」という事が実際の狙いである。
◆宮本一孝が府議という公職者であり、遵法・人権擁護を旨とすべき立場でありながら、違法看板・ザイトク凶悪犯との交友を持ち、門真市体育協会の会長に収まっている事に関して、教委が答弁で
・・・行政は干渉すべき立場にありませんが、各団体につきましては・・・、常に自らを律した上で、市民の皆様の公益につながる活動、よりよい地域社会づくりに寄与する活動を目指していただくべき立場にあるものと認識いたしております。
と答えたのは、「あんまり道に外れた行動を重ねたら容認できないよ」、という事を匂わせたものとして考えてもいだろう。・・・これもひとつの「成果」である。
- 8：総じて教育委員会としては、ザイトク（ヘイトスピーチ勢力）の問題を「自分達の足下にもある存在」として突きつけられ（＝門真市で小中高を過ごした荒巻、ザイトクにかぶれて「朝鮮人殺せ」とネットに書き込む中学生、ザイトク暴力暴言の実態など）、非常に考えさせられたと思う。

2012年6/23尼崎市議会：ザイトクが傍聴者に差別怒号し放題！ 市民を危険にさらして平気な行政・議員の最悪な事例がこれ！

■ 目前の差別暴力被害を見捨てる「在特会を相手にせず」方針の非人間性と無策無能に怒り

1：この件で戸田が一番強く怒っているのは、(ザイトクの愚劣さ、それへの怒りはもう言うまでもない)「議会という公共の場で、議員にとっては『自分の職場』で、ザイトクが老人や在日住民に差別暴力を振るっている(あの罵声怒号は「暴力」と認定すべき)のに、その被害者を助けず、知らん顔をし続けた「在特会を相手にせず」の「人権派」連中のアホウさ加減だ。

一般市民が、ましてや老人や在日女性が、自分の目の前でザイトクの差別暴力に襲われている時に、差別暴力の被害者を助けずかばわず、自分の身を挺して守ることもせず、その場の管理者に暴力加害者の排除や処罰を求める事もしないとは！犠牲になっているのは議会という公共の、民主主義の場に来た一般市民ではないか！

2：こういった非人間的な感性を正当化するのは、いわゆる「挑発に乗るな」論である。その根底にあるのは「権力・右翼の暴力に対する恐怖感を土台とした保身主義」、要は「我が身かわいさ」と「事態の混乱を活力に転化できない己の無能さの隠蔽」である。だからこそ「我が身」ならぬ「他人」に差別怒号が襲いかかっても平気だったのだ。

3：尼崎市議会で「日の丸掲揚反対」側の市民対応を仕切ったのは尼崎市議達だ。共産党の議員達はザイトク問題にほとんど無知だから、実際に「在特会を相手にせず」論で取り仕切ったのは、社民党も含めたいわゆる「市民派議員」達であるはずだ。

これらの圧倒的多数(全部?)は、「口先だけでの人権派」であり、ザイトクと対決せず、ザイトク襲撃の被害者を助けようとせず、ザイトク問題を行政の課題とせず(まさに人権施策への破壊攻撃なのに!)、ザイトクの差別暴力を批判する声明に署名する事すら嫌がる議員達である。

分かりやすく言えば「自分はザイトクに目を付けられたくない！」一心の議員達だ。



★端的に言えば「ザイトク排除の門真市の道か、ザイトク横行の尼崎市の道か」である！

4：◆実は、今回の「ザイトクが尼崎市に来る！」事件は、ザイトクを取り締め封じる絶好の機会でもあったのだ。ザイトクにどうやってタガをはめたらいいかは、2011年9月の門真市議会答弁で示された「門真市モデル」に明確に示されている

議員が市当局に文書質問や議会質問をして、「差別を許さない人権行政」を再確認させ、ザイトクの差別怒号の動画を見せて、そういう行為が「差別と人権侵害に該当する(可能性が高い)」と認定させ、市内で差別怒号事件が起こった時の見解表明や公共施設にザイトクが来た時の対応や庁舎管理の徹底を約束させればよかったのだ。

戸田は尼崎市「市民派議員」の彼らにその事を何度も何度も情報提供し提起してきた。しかし彼ら彼女らはそれを全くやろうとしなかった！今年の1月2月には尼崎市役所にザイトクがイチャモンつけに来ていたようだから、3月議会で取り上げればよかったのに、それを全くしなかった！

日の丸問題でザイトクが押し掛ける事が分かりきった6月議会で取り上げて、行政にザイトク対策・反差別人権擁護の対策を取らせていれば、こんな酷い事件は起こらなかったのに、何もしなかった！

◆こういう「住民の人権や安全を守るためにやるべき事をやらない」無能無策さ、効果的な対処方策(門真市モデル)が明示されているのに取り組まない無能無策さが、今回の「市役所・議場内での差別怒号事件」を許してしまったのだ！

5：こういった「自分はザイトクに目を付けられたくない一心の議員達」に同調して「在特会を相手にせず」方針に賛同してしまった市民運動側にも大きな責任がある。その判断は全く間違いだったと戸田は厳しく批判する。

◆在日コリアンも含めたこれらの運動団体の中心的な人々の多くは、いろんな集会で戸田からのピラを受け取り、反ザイトク闘争の「門真市モデル」を知っていたはずだ。

それなのになぜ、尼崎の議員達をつついて尼崎行政にザイトク対策を取らせようとしなかったのか？

今回ザイトクの被害に遭った人達は、「市役所・議会という、安心できるはずの場所でいきなりあんな酷い罵声暴力を受けた」、「あんな酷い被害に遭っているのに誰も助けてくれなかった!」、「市の職員も議員さん達も、みんな知らん顔だった!」事に酷く傷つけられたはずだ。

それを周りで見っていた一般市民達も職員達にも「日の丸掲揚に反対したらあんな怖い目にあってしまうんだ、誰も助けてくれないんだ」という恐怖感が強烈に刻み込まれてしまったのは間違いのない。

「在特会を相手にせず」論を提唱した者達、それに従ってしまった人達は、被害や損害への責任をどう取るのか?!

6：■ザイトクの差別暴力を行政・議会に公認させ、目の前の被害者を見捨て「沈黙の容認」をするに等しい、愚劣な「在特会を相手にせず方針」を2度と使わせてはならない!

2012年6月～12月、◆「朝鮮人殺せ！」が公然と！ヘイト拡大。

☆ザイトクに有罪・賠償判決も。12月衆院選で右翼大勝、安倍政権へ

領土排外主義高まる。12/16衆院選挙で自民・維新・みんなの右翼改憲勢力圧勝、公明党大勝で安倍右翼政権樹立。

■ヘイトスピーチデモが増大しただけでなく、「朝鮮人殺せ！」など今までは少しははばかられていた言葉が公々然と叫ばれ、プラカードに書かれるようになった。「差別殺人扇動」がネットにも街頭にも公然とあふれ出てきた！

6月：◎川東に150万円の損害賠償判決！7月：「徳島教組襲撃のおつる等19人を起訴へ！徳島地検への起訴要望運動」◎京都朝鮮第一初級学校襲撃事件民事裁判いよいよ佳境へ。12月：◎ロート製菓事件、西村斉に3年6ヶ月の実刑判決！

2012年12月議会・建設文教委：★ザイトクに施設使わせない！

★職員にザイトク問題研修する！暴対逆手に画期的答弁させた！

★2011年9月議会では「反ザイトクの基本姿勢の表明」をさせたが、(それから1年3ヶ月経過した後)今度は「行政の日常業務の中での反ザイトクの具体行動」を約束させた！即ち、建設文教常任委員会で

★1：ザイトクには会館・公園・道路など市の公共施設を使わせない！

(使用申請があっても不許可にする)(許可を出した後でザイトクと判明したら許可を取り消す)

★2：そういう判断が出来るように、市直営でも民間委託でも、公共施設の管理運営をしている職員や団体に対し、ザイトクについての研修をやる！

という内容の答弁を引き出したからだ！

★これで門真市では、ザイトクが差別罵倒デモや暴力的襲撃・威迫の出発地点や到着地点や公園を使ったり、その手の集会場所に公園や会館を使ったりする事が抑止・禁止される事になった！

もちろん、「議会答弁」の事だから、直接に「ザイトクには施設を使わせない」という言葉が使われてはいない。しかし答弁の論理と中味において、まぎれもなく「ザイトクには施設を使わせない」という事が確約されているのだ。

※ 門真市都市公園条例(2012年12月改訂)第4条(行為の許可)に

4 市長は、第1項各号に掲げる行為が次の各号のいずれにも該当しない場合に限り、第1項又は前項に規定する許可を与えることができる。

(1) 公衆の公園の利用に支障を及ぼすと認めるとき。

(2) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある組織の利益になると認めるとき。

とあるのだから、「差別怒号・暴力行為」常習のザイトクは、この(1)にも(2)にも該当し、

■ザイトクの集団・個人は、「市長が使用許可を与えてはいけない対象」になる！

◆戸田委員：条例案には、「集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある組織の利益になると認めるとき。」とありますが、この認める主体は誰でしょうか。市であるはずですけども・

◎真砂土木課長：認める主体は、市であります

※★これ、実は極めて重要な事！

「認める主体は市だ」というのは、「警察ではなく、門真市が独自に判定する」という事だから、「ザイトクに甘い警察の意向に囚われない主体性」を市が持って、ザイトクに施設を使用させない、という事だ！

1：本来、差別・人権侵害・暴力行為を常習しているザイトクのような「反社会的集団」に公共施設を自由に使用させる方がおかしいのだから、「同人権行政」を長年続けてきた自治体行政は、「ザイトクの使用を許可しない」施策を行なうべきだし、そうすることが十分に可能なはずだ。自治体行政がザイトクに公共施設を使わせなければ、ザイトクの活動はその大半を封殺する事が出来る！その事に戸田は気が付いた！

2：そう思っている所に、12月議会で「暴対法がらみの条例改訂議案」が続々出てきた。これは全国どここの議会でもこの時期に出されたのだが、戸田は「住民情報の無限定な吸い上げと法治主義の否定、警察利権の肥大化による警察管理国家への策謀＝暴対法体制断固反対！」の立場を堅持しつつ、

★「暴対関連議案を逆手に取って、ザイトクの公共施設使用禁止施策を市に答弁させる」手法を考えついた！

★しかも暴対関連議案のほとんどが、戸田所属の「建設文教委」にかけられる事を利用して、「議案への質疑」を活用して答弁させる、という効率的手段も発案した！

これは我ながら実に見事な頭脳作戦である！こんな発想と実行が出来た議員は全国で戸田ただ一人だ。

～都市建設部：公園、教育委員会：文化会館・学校施設・公民館・運動広場・テニスコート・教育センター～

3：また、「民営も含めた市の公共施設全部」の担当職員を対象とした研修を求めて確約させたのも、「戸田のぬかりの無さ」の一環である。こうしておかないとザイトク規制の実効が上がらないのだから。

2013年1月～3月、ザイトク公安結託弾圧、◆2月に親ザイトクの維新府議(宮本)が門真市長選出馬表明!★ザイトクが門真市登場図るがこれを粉碎!

1:各種の民衆運動に対してザイトクが執拗積極的に妨害・襲撃し、それを受けて公安警察が逮捕・ガサ入れ弾圧するという、「ザイトク&公安結託弾圧」が激しくなった。↓↓

●ザイトクのデッチ上げ告訴での2/13 ガサ6箇所攻撃糾弾!
前年9月の「慰安婦」集会妨害犯が「暴行を受けた」と鉄面皮にも告訴!)「慰安婦」運動弾圧でも脱原発弾圧でも公安の手先はザイトク!

2: ■2/24: 6月にある門真市長選挙に対して、「ザイトク荒巻と仲良しの 宮本一孝府議(維新の会)が出馬表明し、
維新・緑風クラブ・宮本一孝・大本郁夫(元門真市議、守口門真商工会議所会頭、宮本の後援会長～当時)
大連合での「門真市政乗っ取り作戦」が発動され、それにザイトクも協力する構図が浮かんできた!

3: ■3月: 宮本への側面支援で戸田と門真市当を叩こうとしたのだろう、ザイトクが2011年11月に「門真市訪問」をやって跳ね返されて以来初めて、門真市に登場しようと策動した

■親ザイトクの宮本への側面支援?ザイトクらが「3/6 門真市役所見学」を予告宣伝!

4: ★しかし、この策動は戸田の断固たる姿勢と情報戦によってあえなく挫折した!

ザイトクが、戸田が阿修羅掲示板に投稿して間もなく、「3/6 門真市役所見学は中止する」とネットで公表!

★これは門真市と戸田の断固たる姿勢を土台とした勝利である!

★同時にこれは、「やっぱりザイトクと宮本府議は関係が深そう!」という事を一層浮き彫りにした。

◆こういった出来事から言える事は、(戸田がかねてから主張するように)、「自治体当局がザイトクへの批判姿勢を公表し、ザイトクの類の暴力差別怒号の常習者には施設を貸さないという事を実行すれば、ザイトクの横行はかなり抑止できる、ということだ。

◆また、「門真市以外の各地でザイトクの差別怒号デモ、暴力行為が放置されているのは、議員や住民団体が自治体行政を突き上げないからだ」、ということだ。

とりわけ自治体議員、国会議員の放置責任は一番大きい。

「ザイトク来襲予告」で戸田が市に送った「3/4緊急提言!」のメール ↓↓

総務部、人権政策課ほかに通報します。(中略)

予測としては、10~20人規模で車と徒歩で市役所にやってきて、種々の嫌がらせ行動をされると思われます。その狙いは、

A: ザイトクらに毅然たる対応をする議会議会答弁を重ねてきた門真市を攻撃して自分らの力を誇示する。

B: ザイトク対応が絡んだ戸田の3/8一般質問の前に、市の答弁内容に圧力をかける(!)

C: ◆園部市政への混乱持ち込みで「親ザイトク」の維新の会=宮本を市長選挙で有利にする。

の3点でしょう。

度重なる議会答弁で深めた門真市の毅然たる姿勢を絶対に緩めてはなりません。動揺やビビリの姿勢を見せれば、ザイトクにつけ込まれる事になります。「キツパリと跳ね返す」姿勢を示す事が大事です。

以下に対策の提言をしますので、至急全庁的に検討して対策を固めて下さい。

1: 敷地内でのスピーカー使用やプラカード使用は厳禁する。警備職員と警察に厳しい対応を指示・依頼。(中略)

2: 庁内での動画撮影は拒否する。「一般市民への迷惑」などで。撮影停止を求めてもやめない場合は、それをもって「庁舎管理者指示への違反」として強制退去を図る。
(中略)「撮影は許可しない」の理論武装をして対応する。

3: 行政の質問や要求をする者には、氏名・居住地(門真市民か否か)を必ず問い質して、連中の目の前で記録する。
「素性を明かさない者への対応に時間は割けない」との強い姿勢で。

4: 「門真市民でない者が空疎な議論をふっかける」事にも、「対応に時間は割けない」との強い姿勢で。

5: 連中はそれを見越して、「門真市在住の者」を2~3人用意してくる可能性がある。(実際に門真市民でザイトク輩の者も存在する) その場合の対応も考えておく。

6: 連中は「門真市市役所の見学会」と銘打って、「市民の合法的な行動」を装っている嫌がらせ・威迫をしようとする。
バラバラに動き回る事もありえる。話をでっち上げるネタを作ろうとするので、話し方には注意が必要。

7: 連中が行きそうに思えるのは、
・市長への面会を求めて秘書広報課・議会事務局と議員控え室
・人権政策課・市民部長のいるところ・総務部長のいるところ
・生活保護課・食堂含めて庁内全域の練り歩き(見学と称して)

8: 「公開質問状への回答」は三行半的文書送付で十分。
「あの文書に書いている事が全てです」以上の対応はしない。

9: 「議会答弁についての批判や質問」については、議事録のコピーを示して、「ここに書かれている通りです。それ以上でも以下でもありません」、と突っぱねる。

10: 全てにおいて連中とは「議論はしない。意見は聞き置く(しっかりノート採って)。」姿勢を貫く。

11: 「朝鮮人殺せ!」等の怒号行動は差別・人権侵害・名誉毀損であって、許されない行為である、との市の見解は一貫させる。

12: ◆市側で連中の行動に対する「記録」をしっかり行なう。
特に音声録音とノート記載はしっかりやる。
写真動画撮影は、騒動になった時に速やかに行なえる体制にする。

2013年3/8本会議：★「住民の安全と尊厳を守る行政責任」概念確立！ 「人権政策課の改善が急務」、ザイトクと維新・市長選の関係指摘

＝6月市長選・橋下の威を借る維新の宮本府議（門真市選出で親ザイトク！）の2/24 出馬表明で激戦予想、3/6 ザイトク来襲策動粉砕、という緊迫した状況の中で、「自民党園部市政の先進的施策の高度化を求める」ものとして質問＝

1：★この3月議会で初めて、「反ザイトクの人権施策の中心環として人権政策課がしっかりすべき！」という観点を明らかにして、低レベルな現状を具体的に厳しく指摘しての問題点を洗い出させ、改善への具体的道筋を示し、市当局に改善の基本線を同意させた！

＝この当時の人権政策課の低レベル状態（2月末に人権政策課長に聞いたところ）＝

- ▲最近の在特会らの差別デモの頻発について、何も知らない（！）差別罵倒デモなどの動画を見たことがない（！）
- ▲ヘイトスピーチデモや暴力襲撃が近年の人権問題で重大な問題であるという認識をさっぱり持っていない感じ。
- ▲この問題について、人権政策課として資料・情報を集めて知る事を全くしていない！
- ▲「自治基本条例」への市民意見に現れてきた「門真市民の中での民族差別意見の露呈」について何も知らない（！）。
- 12月議会の建設文教委での「ザイトクへの施設使用許可の問題の質疑（戸田）・答弁」について全く知らない（！）

2：当局・人権政策課としては「急に重たい課題を投げられた」感じだったのであろうが、2013年度はその方向で進み、9月議会での戸田追及でそうなる事が確定された！

※市当局としては、市民部・人権政策課も、総務部・人事課等での答弁調整が必要だったと思う。

3：「朝鮮人殺せ！」の怒号とプラカードが常態化しているヘイトデモの最近の実態を議会で取り上げてた。

4：◆門真市民の中にもザイトクにかぶれた人達、ザイトクが流すデマを信じ込んでいる住民がいる事を、実例を挙げて警鐘を鳴らした。/「自治基本条例」への市民意見の中で、「在日外国人には日本国籍住民と同じ住民権利を与えるな！」、等の差別意見/「生活保護で在日外国人が特権的に優遇されている」、「在日外国人に生活保護を与えるのは違法行為だ！」、「外国人に生活保護を与えるのは日本だけ！」等のデマ宣伝が広がっている。/・門真市住民の大学生などがザイトク集団に入ってデモ行動をしている。

5：★宮本一孝府議の非行行状、ザイトク凶悪犯荒巻靖彦の犯罪実態、そして両者が懇意である実態を、初めて本会議議事録に残した！（※この部分については「再質問を借りた指摘」で行なったので、「答弁」は無い）

2013年3月～8月、■女子中生「鶴橋大虐殺を」とアジ！

☆反ヘイト行動活発、のりこえ発足、戸田の宮井提訴など

1：■3/23にザイトク女の娘の中学生が鶴橋でのヘイトデモに参加して「南京大虐殺ではなく、鶴橋大虐殺をやらないといけない」と叫んだ！ この動画が韓国でも報道され、大きな衝撃を呼んだ！

女子中生がザイトクにかぶれてこんな事を街頭で叫ぶ神経！それを嬉々として動画公開するザイトクの神経！

2：ザイトク・反ザイトク双方に逮捕者が増えた。在特会会長の桜井誠も初逮捕。

3：★4月にザイトクおつる＝中曾千鶴子がやっと起訴された。（徳島県教組の頑張りによって）

★ザイトク凶悪犯の荒巻靖彦が刑務所入り（5月）、西村斉は収監後保釈されてザイトク活動を続けたが、11/22にやっと刑務所入りした。

4：6月の門真市長選を巡って、親ザイトクの宮本一孝が「所得税迂回寄付」をバクロされて4/10に「出馬断念表明」！

5：★戸田が動画「維新府議・宮本一孝&ザイトク『黒書』」を6月に作ってアップ！

6：「反ザイトク行動」が盛り上がる。★大阪で「7/14 仲良くしようぜパレード」に600人。

★東京では「カウンター行動」盛り上がりで7/7ヘイトデモを中止に追い込んだ！

★9月、著名人が名を連ね「のりこえねっと」＝「ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク」設立

7：★7/12、戸田はザイトク宮井将（まさる）に民事賠償請求訴訟を提訴！（2010年4/7戸田襲撃・眼鏡窃盗の制裁で）

8：ザイトクも進めてきた「はだしのゲン」排撃運動が8/16報道で明らかになり、全国的反対が起こって、松江市は「はだしのゲン」を図書館本棚に戻した。（⇒しかし今度は全右翼・右派メディア挙げての「ゲン」排除運動に）

2013年6月議会・文教委でザイトクと宮本府議・吉水議員・体協の関係をみっちり

★「ザイトク荒巻の実態と維新宮本府議の友好関係」、「宮本府議と門真市の緑風クラブ・吉水議員や体育協会の不適切な癒着関係」等を、「質問時間制限無し・一問一答式の所管事項質問」でじっくり公表し、議員・職員・市民への啓発とした。今回は「荒巻の刑務所収監」という事実も含めて、より深く掘り下げて質した。

◆これは宮本が4/10に出馬断念表明をしたといえ、「6/9 公示の市長選に維新関係の出馬がゼロではない」という状況を見据えての「維新対策」でもあり、同時に「今後とも維新が門真市内で出馬したら、ザイトクと宮本府議の友好関係を追及するぞ！」という「維新・宮本封じ作戦」としてもなされたもの。⇒維新は門真市長選に不出馬で園部3選に。

2013年9月議会：文教委と本会議：★反ザイトク施策を集大成！ ★人権政策課がザイトク問題を主管、★戸田製作動画で全部署研修！

★1：日本で唯一「ザイトクに厳しい人権行政」をやっている門真市の対策を集大成させるべく、質問の仕方を組み立てた。「2年がかりの集大成」だ。

★2：「反ザイトク人権施策」の主管を「市民部・人権政策課」とするという、「行政組織としての責任の所在」を確立させた！ 人権政策課が反ザイトクの中心環となって情報収集し、総務部人事課（職員研修）や教育委員会（学校教育・社会人教育等）にも、公共施設管理の市部門や民間団体にも、全ての部署に情報提供と指導的責任を負う事になった！ これはもの凄く画期的な事である。

従来の「ルーティンワーク的啓発部署」から「躍動的な人権政策発信部署」になる！

※全国の自治体行政は、この事を特に参考にして欲しい。

★3：「ザイトクには施設を使わせない」ための職員研修を、戸田作成のDVD使って実施していく事を約束させた！ ※ 戸田特製の「ザイトク」問題研修用動画（7分41秒・音楽付き）

（ザイトク問題では、今の所、他に適切な動画教材が全く無い、という実状だから）

またザイトク問題について、施設管理の民間職員も含めた全部署の職員に、議会答弁や各種文書資料も使って、毎年実施していく事（その方向）を約束させた！（今までの議会答弁がどう実践されたかの検証もさせて）

◆4：初めて「常任委員会での所管事項質問」と「本会議での一般質問」の両方においてザイトク問題を質問して、教育委員会と市長部局を総合した施策としての認識を職員達に持たせるようにした。

◆5：「ザイトクは身近な脅威である」事を、

- 1) 女子中学生が「鶴橋大虐殺を！」と叫ぶような社会情勢になってしまった
門真の中学生がヘイトスピーチに参加していることが判明したらどうする？
- 2) そういうザイトクかぶれの青少年や大人は門真市にも存在するという実例
そういう住民が行政にクレームつけて来たらどう対応するのか？
- 3) ザイトク荒巻は門真市出身で、門真市選出の宮本府議と交友関係を持つ
- 4) 「はだしのゲン」排撃という、とんでもない事にザイトクが噛んでいた
門真市に対してもそういう攻撃は起こり得る。その時どう対応するのか？

という指摘を通じて「自分達が直接向き合う事」として考えさせた。

これはまた、ザイトク問題にうとい（共産党も含めた）門真市の議員達に対する啓発でもある。

★7：文教委質問では、「はだしのゲン問題」が今後は右翼全体と政府文科省総がかりでの攻撃になる事をしっかり予見しつつ、「今の段階なら『ゲンは良書だから守るべし』という教委職員（先生あがり）の『素直な回答』が得られる！」と的確に判断して質問し、「門真市でははだしのゲン排撃はしない」と議会答弁をさせた。

★これは今後の文科省・府教委の圧力に対して相当強固な抵抗線になる！

★8：「はだしのゲン排撃」にしろ何にしろ、「ザイトクなどからのクレーム攻撃と右翼議員の連携」によって行政が押し切られる例が沢山あるが、門真ではそうはさせない＝「親ザイトクの宮本府議と親しい緑風クラブ議員（「親学」などの日本会議系運動にも親近感を持つ）に策動させない」という仕掛けをバッチリ作った。

それが、ひとつには議会質問で何度も繰り返してきた「ザイトク荒巻と宮本府議との関係」であり、もうひとつは、この9月文教委で「執拗なクレームがあった場合は、議員にもその実状を報告するべき」と認めさせた事である。

★これつまり、「右翼的クレームは戸田に筒抜けになって厳しく公開的に反撃される」（＝だから門真市行政も心強く右翼クレームに対応出来る）という事だ！（笑）

★9：緑風クラブの吉水議員が4/1 施行の「議員政治倫理条例」に違反して体育協会の副会長をしていて8月末にやっと辞任したが、実は今も「ソフトボール連盟の会長」を今も続けて条例違反を重ねている、という「爆弾質問」を行なった！

これは「親ザイトクの維新と門真の緑風クラブ・体育協会との黒い癒着」をバクロ批判するものである。

・・・これが12月議会での吉水議員への議長警告読み上げと問責決議につながり、

◆また、門真共産党が「吉水議員は議員政治倫理条例違反ではない！、問責決議にも反対！」と主張するいう、「共産党と緑風クラブとの不純交友関係」をバクロする事にもつながった。

◆10：この議会から戸田は初めて「ザイトク」という戸田の造語を「ヘイトスピーチ勢力」とも呼ぶ事にした。（昨今ようやくテレビ新聞でも取り上げられるようになり、「ヘイトスピーチ勢力」という呼び方で一般には知られるようになったため）

2013年10月～2014年2/21門真市研修会まで

★10/7京都地裁判決：朝鮮学校襲撃ヘイトのザイトクに1200万円超の賠償判決！

日本初の画期的な（通称）「ヘイトスピーチ賠償判決」だ！

ほか、いろいろ

★10/7 京都地裁：ザイトクの京都朝鮮学校襲撃・ヘイトデモに対して人種差別と断罪、1200万円超の賠償命令判決！

全国に大きな波及！ ザイトク＝ヘイトスピーチ（ヘイトクライム）問題に、かつてなく広汎な人々を向き合わせた。・・・しかし、安倍政権や自治体行政・各首長らには、まだ変化無し。

■ザイトク宮井を提訴した戸田裁判の大阪地裁裁判長は、「慰謝料は無し。眼鏡代金＋金利のみ賠償」！

★戸田は控訴しつつ、判決認定分すら払わない宮井に1/7 自宅差押え訪問やハガキ攻撃をかけ、賠償金ゲット！

■大阪府の中原教育長とザイトク・維新が結託した「11/16 中原教育長講演会」が企画され、宣伝されるという大事件発生！ 10月上旬に府内市町村の議会事務局に宣伝ビラが郵送され、各議会事務局や行政は「なかば公的行事のように」扱った！

★だが戸田が「11/16 中原教育長講演会粉碎！」で単独決起し、大宣伝！取り止めに追い込んだ！

橋下の早稲田同窓生の渡米弁護士にして「君が代口元監視」の中原府教育長が、悪名高き「ザイトクおつる」（中曾千鶴子＝ヘイト行動常連、徳島県教組事務所襲撃一味で刑事被告人！）の司会で「教育を語る」11/16 講演会を実施・・・という、天人共に絶対に許せない計画があって、それがザイトクから極右勢力と維新の会結託の重大イベントとして、早くから準備宣伝されてきていたのだ。

主催者は「NPO法人」を謳う「教育再生地方議員百人と市民の会（百人の会）」という団体だが、

・理事長が、維新の会の大阪市議：辻 淳子、

・事務局長が、元「在得会関西支部長」で、小学校校長脅迫・車庫飛ばし・保険金詐欺で3回も逮捕されている右翼ゴロの増木重夫、

・理事にヘイト行動常連、徳島県教組事務所襲撃一味で刑事被告人の「おつる」こと中曾千鶴子が入っている、

という、まさに「ザイトクと維新の会の結託をあからさまに晒している」とんでもない団体だ。

・・・★ところが、ザイトク・維新・中原の側が、戸田の決意に恐れおののいて、中原や主催団体にまだ文書ひとつ送られていないのに、11/8（金）になって急遽、「11/16 中原講演会の中止」を決めて発表した！

戸田の約40年に及ぶ活動体験の中で、「ビラやHPで批判宣伝しただけで勝利した」のはさすがに初めての体験だ！

これは楽しいし目出度い！

■安倍ファシズム政権の下、「嫌韓嫌中」を売り物にしたメディアが大繁殖！

2月都知事選では極右の田母神が61万票も獲得した！

投票20代の1/4が田母神に入れた！

ちっぽけな低所得都市・自民党市長の門真市で出来た事が、なぜ他の自治体で出来ないのか？

★ヘイト行動を弾劾規制する、第2第3の門真市を作れ！